



今回の担当は魚島担当のクリストファー・レイジェーです。

《弓 削》	毎週月曜日	19:30 ~	弓削地域交流センター
《生 名》	毎週月曜日	9:00 ~	生名公民館
《岩 城》	毎週木曜日	20:00 ~	岩城総合支所庁舎
《魚 島》	毎週水曜日	19:30 ~	魚島開発センター

Hello again, it's Chris from Uoshima!

One of the interesting things about Kamijima is the local cable TV channel. In the United States, some places have local TV stations with "public access", but usually these are reserved for bigger cities.

When I found out that our small town of Kamijima had their very own channel, I was really surprised! Of course, I was even more surprised to tune in from time to time to see that my own students and even myself were on the TV screen—it was almost as if we had all become minor celebrities!

When this initial shock wore off, I really began to appreciate seeing footage from local events that I was unable to attend, especially those that my students were involved in. Watching my students at Yuge High School participate in their Sports Day festivities, my preschool students from Ikina perform at their own recital, and of course my students here from Uoshima at the relay marathon as well as other events, I could vicariously relive those memorable moments. And of course not just once, but many times, all thanks to repeated broadcasts.

And of course, I could appreciate those events that I was able to attend even more seen through the eyes of a cameraman and an editor, focusing on the most interesting moments. I'm not able to be in multiple places at once, but the cameraman always seems to know where the action is, and is always there to film it!

Not long after arriving, one of my preschool students from Ikina told me, "I saw you on TV last night!". This is of course something I would have never heard back at home, so it's interesting that my students can also share those moments with me as well through the power of television.

Stay tuned and you just might see your friends' faces (or even your own) on the screen next time!

こんにちは！魚島のクリスです！

この上島の面白いところのひとつはやっぱりケーブルテレビのチャンネルですね。アメリカでも地元のテレビチャンネルの「パブリック・アクセス」（視聴者制作テレビ）もありますが、こんなチャンネルはだいたい都会のためだけに存在すると言えます。

この小さな上島町の専用チャンネルの存在を知った時は、もちろんビックリしました。それに、地元の番組を注目して見ると…まさか！自分の生徒たちは画面に写っている…ええー僕も!?テレビに出るなんて、ちょっとした有名人になったのか!?と思いました。

受けたショックが落ち着いてから、見に行けなかった地元の行事の放送を鑑賞しました。もちろん、自分の生徒たちの参加したイベントは特に気に入ります。弓削高校の運動会、生名保育園の発表会、駅伝に参加した魚島の生徒たち。全部はテレビ放送そして再放送のおかげで何回も見て応援ができました。

しかも参加した行事の様子も見るが好きですね。人は同時に二カ所にはいられないので、活動拠点が詳しいカメラマンのおかげで見れなかった楽しさもテレビで写ります。

最初に魚島に来た頃、保育園の園児が言いました。「昨日、クリス先生をテレビで見たよ！」これはアメリカで絶対聞かないセリフですね。テレビのおかげで園児たちと素敵なひとときを分かち合って嬉しかったです。

地元のテレビはいつも楽しみにしています！

文・訳：クリストファー・レイジェー
(これは、ALTの原文を載せています)



こんにちは 町長です



私が、関係省庁への訪問を定期的に実施しているのは、一月と四月で、これは新年と人事異動後の挨拶回りを兼ねています。七月にも省庁幹部の人事異動と国の来年度予算編成時期が重なるので、上島町の重要施策要望書を持って陳情活動を行います。この時には上島町職員を交代で行させ、国の行政現場を直接肌で感じてもらうようにしています。

民間で言うところの、営業回りみたいなものですから、ドアを開ける前には大変緊張します。しかし、陳情や要望活動はもちろんです。しかし、名刺交換や何気ない会話の中において、上島町にとって貴重な情報を得られることがあります。上島町の情勢も相手に覚えていただければ、今後背中汗を流しながら、活動を続けたいと思っています。

東京への定期的な訪問以外にも、離島関係の活動や福祉・医療・道路・港湾・産業振興関係総会等の合間、あるいは国の出先機関や愛媛県での上島町の施策活動を含めると、官庁だけで現在までに延べ五千五百人を訪問し、それをデータ化しています。

平成二十七年度は「地方創生」スタートの年です。町民の皆様や、関係各団体の御意見、お知恵をお借りして上島町からの提案を国や県に投げかけてまいりますので、ご協力いただきますようよろしくお願い致します。

上島町長 上村俊之